

南無  
景春

魂

道雄

心月芥

云以豊

松山

何事の邊度其轉起す

皇國具海王一統  
第一高貴名号

雄飛

昔

海

大石

梅花

象

一心

士生報

魚男

君是

凡五七二

道雄



松林氏

可阿語

至誠救國

背道者

松林

底

松

◎海軍被告名残りの寄書

家族辯護人等に送る

最後の裁断を待つ海軍側被告は何れも水の如く澄み切つた心境に何等の不安も持たず當日を待つて居るが八日「長々お世話になつた記念に」と三上下尉の達磨の繪を初め各々「無礙自在」「七生報國」「至誠」「雄飛」「天」「魂」「心」「如水」等と心境を筆に託した寄書二十枚を各辯護士、特別辯護人並に世話人及び被告の家族に送つて來たので之を受けた辯護人世話人は八日夜水交社で更に之に各々寄書をして好個の記念とした

寫眞は

一、被告と辯護人の寄書